

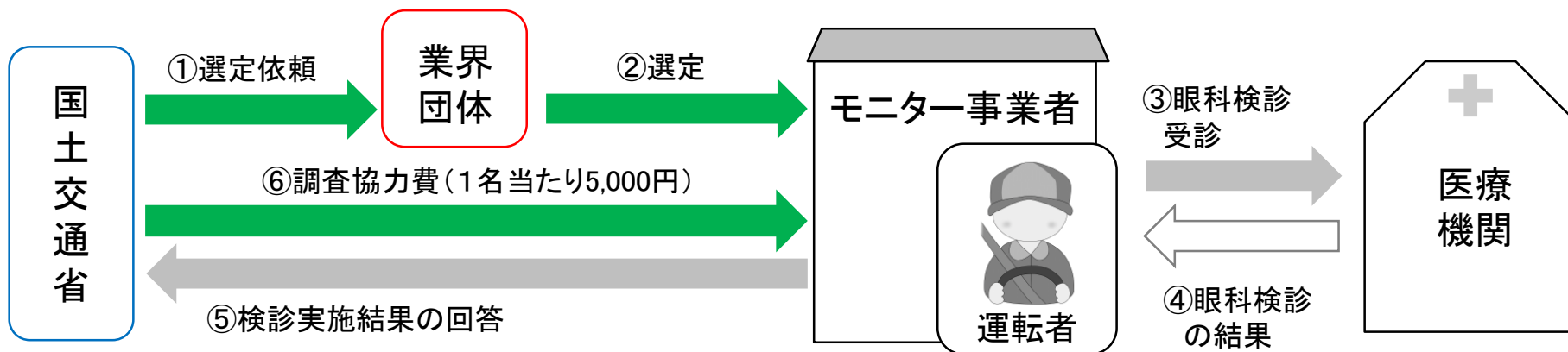
# 令和4年度眼科検診普及に向けた モデル事業結果

令和5年度 第1回「自動車運送事業に係る視野障害対策ワーキンググループ」

# 眼科検診普及に向けたモデル事業の概要

- 運転者の視野障害が原因となる事故の抑止のため、眼科検診に積極的に取り組みたいと考えている事業者の中からモニター事業者を選定。
- モニター事業者の運転者が、視野障害対策マニュアルにて推奨を検討している眼科検診を実施。  
(R3:671人、R4:633人、R5:約1,700人予定)
- 眼科検診の実施結果やその後の視野障害の発症や治療の有無、勤務制限状況などについて調査(3年間)し、眼科検診を活用した健康確保の取組の手法を検討し、事業者への周知・普及を図る。

## 【1年目】



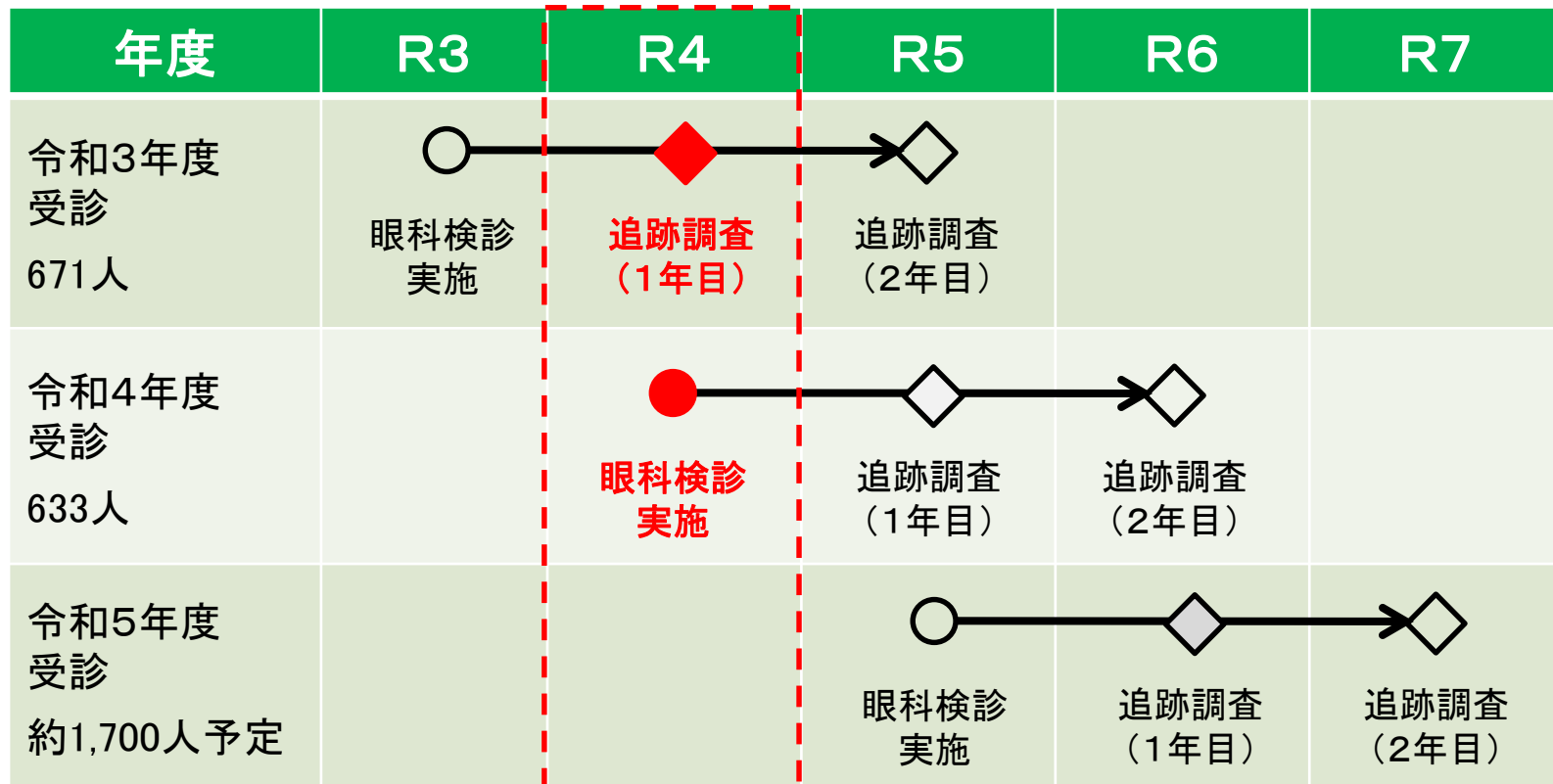
## 【2・3年目】 <追跡調査>

事業者から国交省に対し、眼科検診実施運転者に係るその後の視野障害の発症や治療の有無、勤務状況、事故発生の有無等について調査



調査結果を踏まえ、眼科検診を活用した更なる健康管理方策を検討

眼科検診実施  
運転者合計  
約3,000人



## (参考) 令和4年度スケジュール

	R4				R5		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和3年度 受診		→ 追跡調査結果の回収					
令和4年度 受診	→ 参加事業者募集					→	→ 結果概要 まとめ
	→ 参加事業者の運転者が眼科検診実施						→ 受診結果の回収

## 運転者が受診する検査項目について

- モニター事業者の運転者は眼科にて、眼科検診を実施する。
- 眼科検診の検査項目に「視力検査、眼圧検査、無散瞳眼底検査」を含むこととする。  
また、医師が必要と判断した場合には、視野検査等の必要な検査を追加で受診することとする。

## 眼底検査

・眼底カメラで眼の奥の構造を撮影します。眼球の奥にある視神経乳頭（神経が集まる場所）、網膜、細い血管の状態を観察します。

※散瞳薬を使用しない無散瞳眼底検査では検査後の運転などへの影響はありません。

## 眼圧検査

・眼球に空気を吹き付け、その反射から眼球の圧力（眼圧）を測定します。

・眼圧測定を行うために、眼球に直接触れて測定する方法を導入している場合もあります。

## 眼科検診実施年度 調査項目

### 【全員】

#### ① 眼科検診の実施結果

◆ 検診日

◆ 結果(下記の3分類で回答)

— 異常所見あり(治療が必要)

— 異常所見の疑いあり(精密検査が必要・経過観察が必要)

— 異常なし

◆ 所見の内容、医師からの指示等

【結果が「異常所見あり(治療が必要)」「異常所見の疑いあり(精密検査が必要・経過観察が必要)」の者】

② 定期健康診断結果の情報の一部及び疾病や生活習慣に係る情報(詳細は後述)

③ 精密検査の受診状況及びその結果

④ 要治療となった場合は、その後の治療の状況及びその結果

⑤ 精密検査及び治療のそれぞれの段階における、医師からの指示(所見)の内容

⑥ 事業者が行った対応(所見に基づく運転指導や配置転換等)

## 追跡調査年度 調査項目

### 【全員】

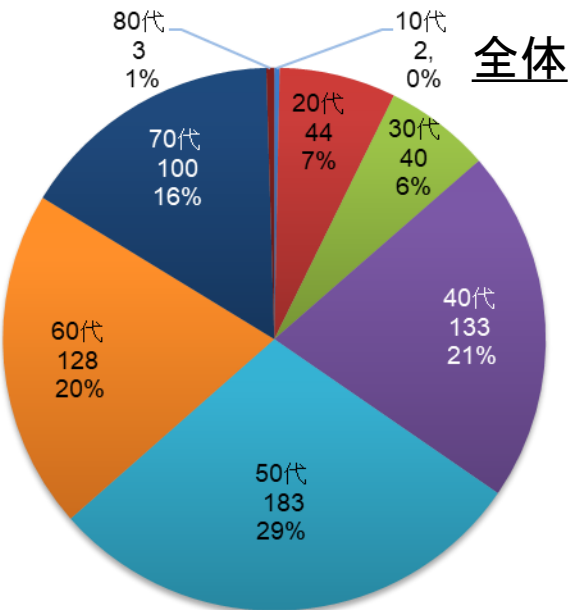
⑦ 視野障害の発症の有無、勤務制限状況、事故発生の有無

# 令和4年度 新規検診者結果

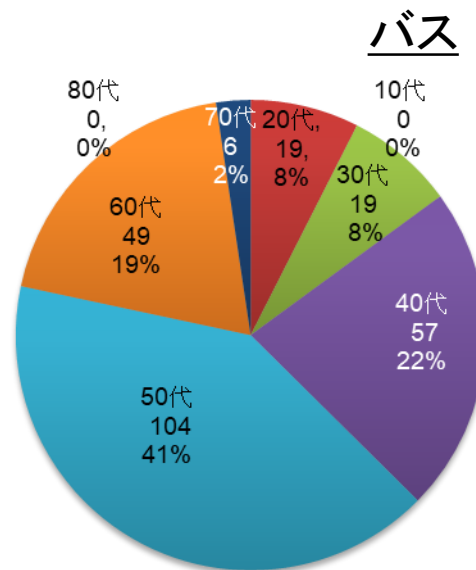
## 【検診者数】

	バス	タクシー	トラック	合計
事業者数	9事業者	10事業者	10事業者	29事業者
運転者数	254名	202名	177名	633名

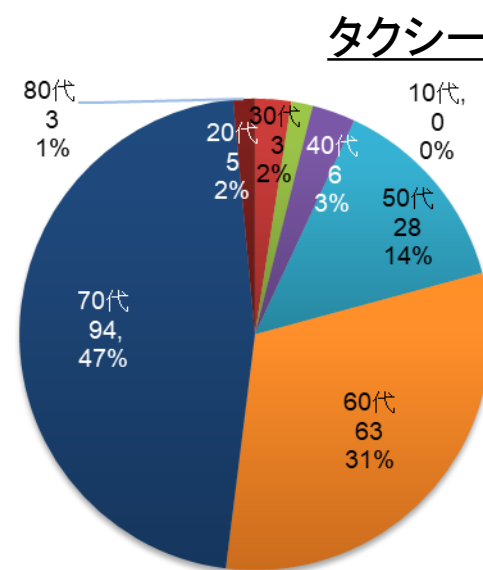
## 【年齢構成】



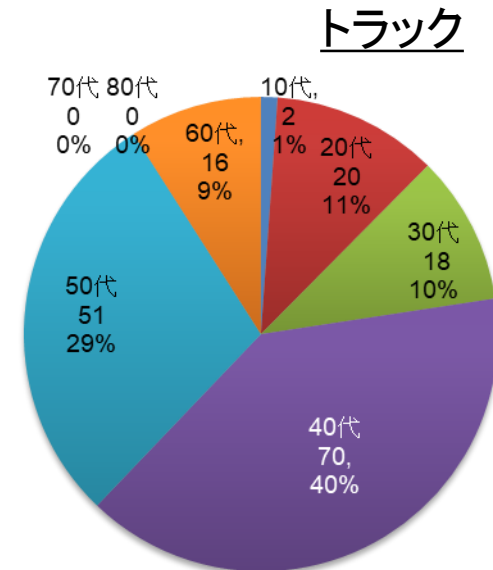
計 633名



計 254名



計 202名

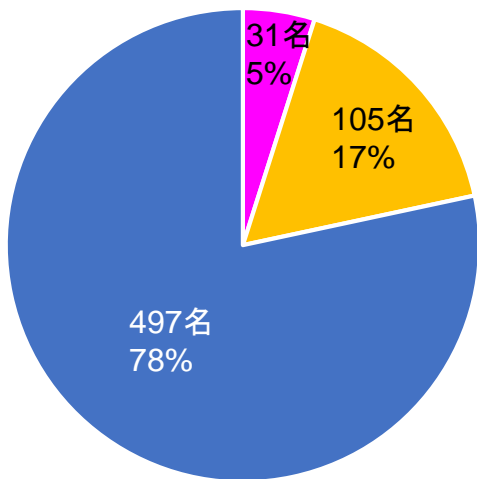


計 177名

## 【検診結果】

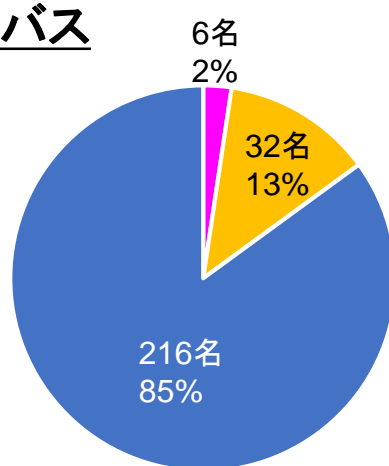
- (1) 全検診者のうち「**異常所見あり(治療が必要)**」と診断された運転者は、計31名(5%)  
 (バス:6名、タクシー:24名、トラック:1名)
- (2) 全検診者のうち「**異常所見の疑いあり(精密検査が必要、経過観察が必要)**」と診断された運転者は、計107名(17%) (バス:32名、タクシー:51名、トラック:24名)
- (3) 全検診者のうち「**異常なし**」と診断された運転者は、計495名(78%)  
 (バス:216名、タクシー:127名、トラック:152名)

全体



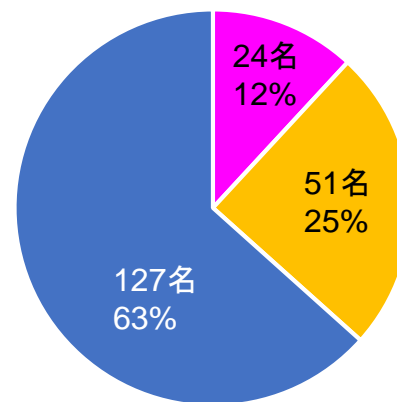
計 633名

バス



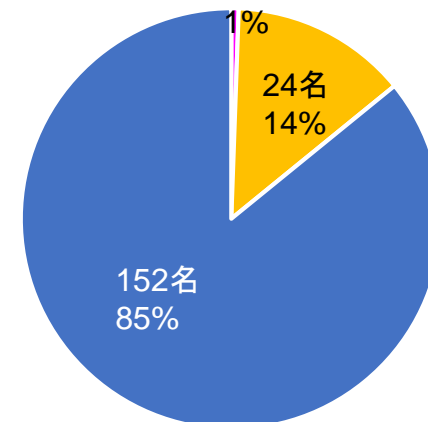
計 254名

タクシー



計 202名

トラック



計 177名

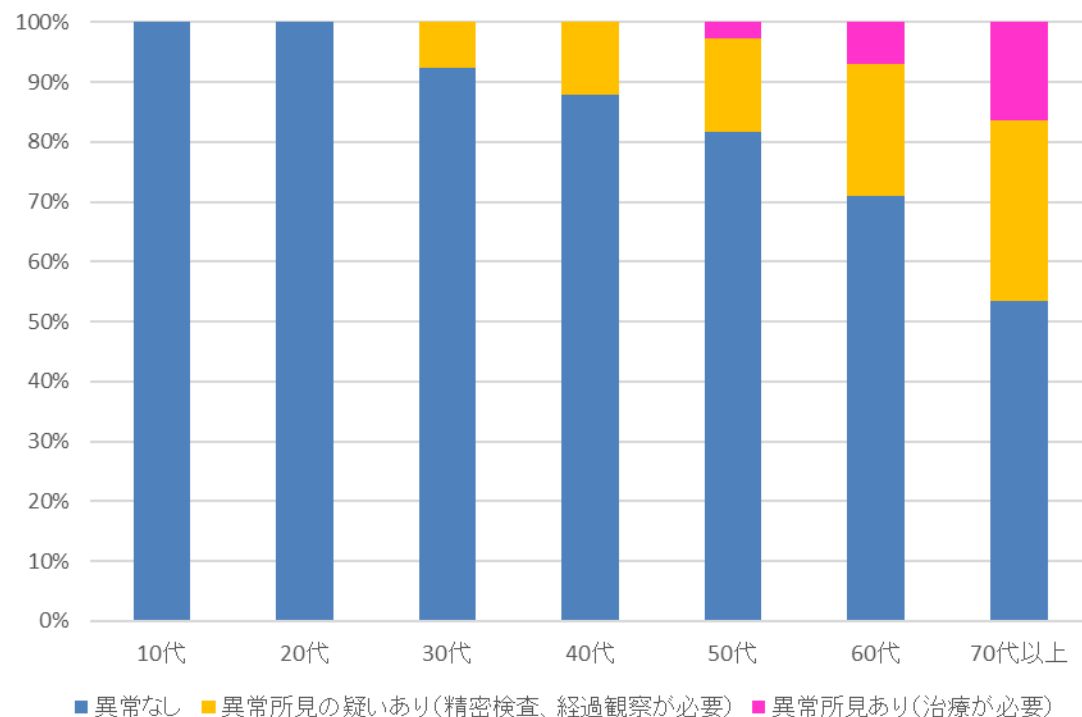
■ 異常所見あり  
 ■ 異常所見の疑いあり  
 ■ 異常なし



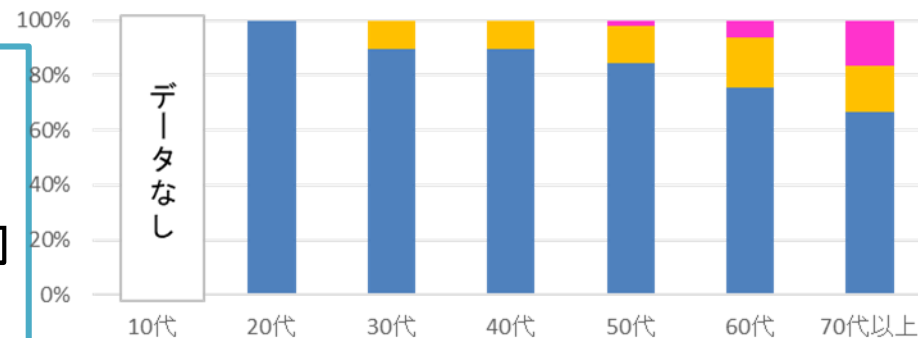
## 【検診結果(業態×年齢)】

年齢が上がるほど、「異常所見あり(治療が必要)」、「異常所見の疑いあり(精密検査、経過観察が必要)」と診断される運転者が増加する傾向が見られた

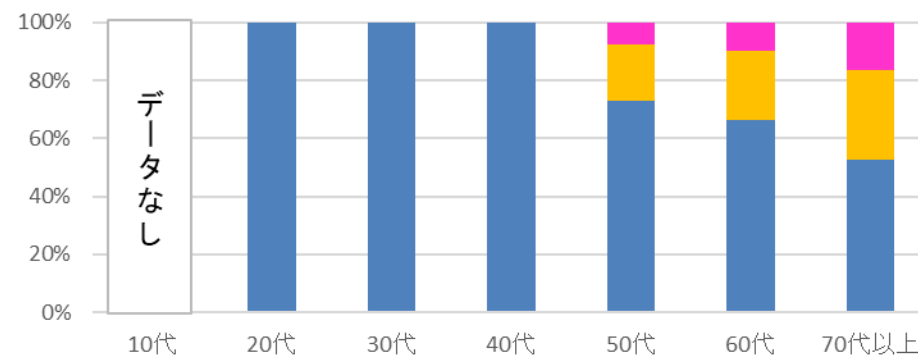
全体



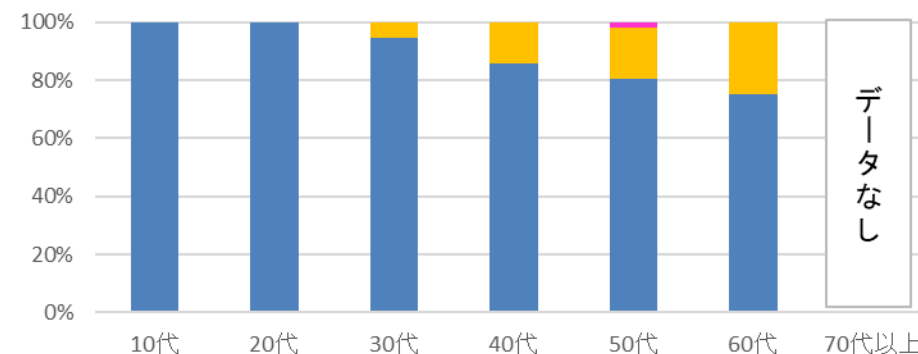
バス



タクシー



トラック



## 【検診の中で見つかった症例】

### （視野障害の原因疾患）

全検診者のうち、視野障害の原因疾患（疑い含む）と判断された運転者は計82名（13%）

症例	人数	30代	40代	50代	60代	70代以上
緑内障	5名	0名	0名	1名	2名	2名
緑内障疑い	52名	3名	8名	19名	10名	12名
網膜疾患	25名	0名	1名	5名	10名	9名

※一部は精密検査を実施している場合もあり

### （視野障害以外の疾患）

- ・白内障

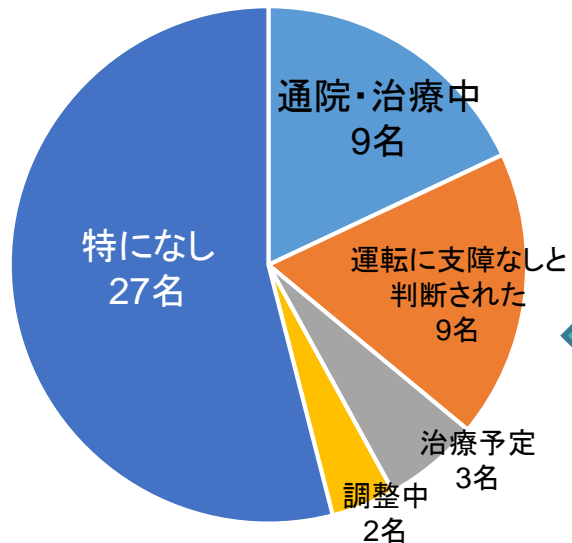
## 【事業者の対応】

初診にて「異常所見あり(治療が必要)」もしくは「異常所見の疑いあり(精密検査が必要、経過観察が必要)」と診断された運転者

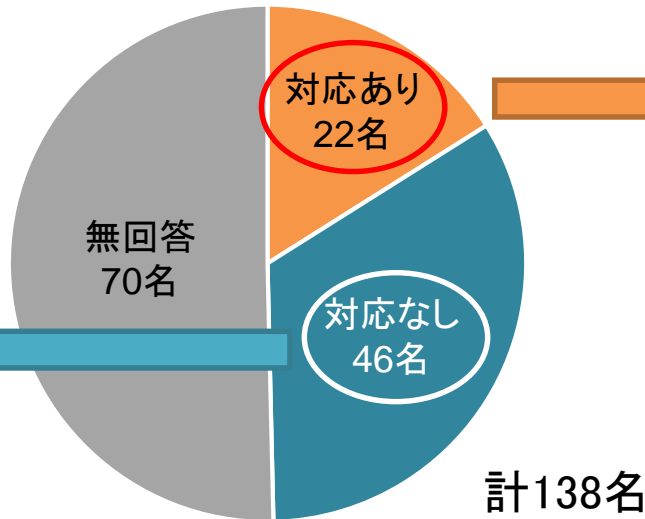
受診から3か月の間に何らかの対応をしたと回答した事業者は7事業者22名であり、「異常所見あり(治療が必要)」の運転者では全体の32%、「異常所見の疑いあり(精密検査が必要、経過観察が必要)」の運転者では全体の10%であった

### 「なし」の場合 対応しなかった理由

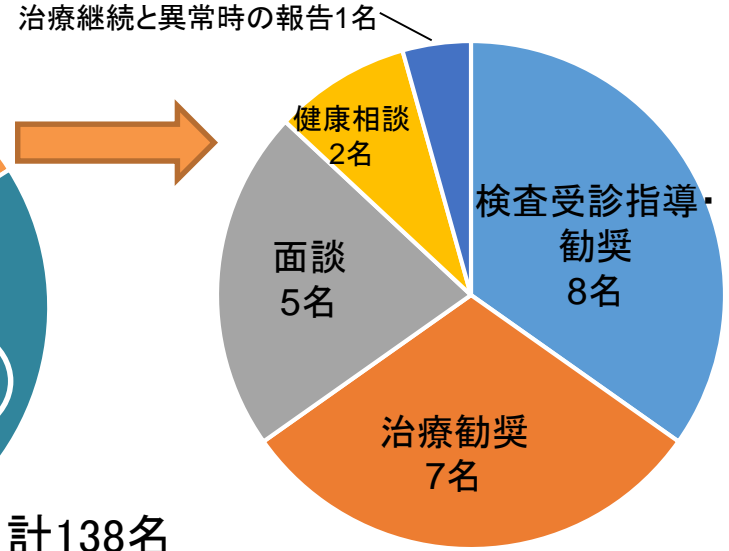
(複数回答あり)



### 運転者に対する 事業者の対応有無



### 「あり」の場合 事業者の対応内容



## 【事業者の対応】

視野障害(疑い含む)事例

### ① 事業者にて「検査・受診指導」をしたケース(8件)

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
1	タクシー	男	70代	異常所見あり (治療が必要)	近視性乱視 老人性白内障	不明	[検査・受診指導] 受診の催促
2	タクシー	男	50代	↑	緑内障疑い(左)	↑	[検査・受診指導] 経過観察して検査するように医師からアドバイスされたとの認識であり、その通りにするよう伝達
3	タクシー	男	60代	↑	糖尿病網膜症(右)	↑	[検査・受診指導] 糖尿病によるものとの認識はあり、主治医とも相談。6か月後に再検査する予定とのことであり、その通りするよう伝達
4	タクシー	男	70代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	必ず受診の事	↑	[検査・受診指導] 面談にて精密検査受診を推奨
5	タクシー	男	60代	異常所見あり (治療が必要)	眼底出血	↑	[検査・受診指導] 面談にて精密検査受診を推奨
6	タクシー	男	70代	↑	糖尿病網膜症	↑	[検査・受診指導] 面談にて精密検査受診を推奨
7	タクシー	男	70代	↑	両眼白内障	↑	[検査・受診指導] 面談にて精密検査受診を推奨
8	バス	男	50代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	緑内障の疑いあり	↑	[検査・受診指導] 早急に検査を受ける様に指導

## ② 事業者にて「治療勧奨」をしたケース(7件)

視野障害(疑い含む)事例

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
1	タクシー	男	70代	異常所見あり (治療が必要)	緑内障と思われる所見あり。治療が望まれる	不明	[治療勧奨] 治療催促中
2	タクシー	男	70代	↑	年に1回程度白内障検診を	↑	[治療勧奨] 治療催促中
3	タクシー	男	70代	↑	白内障と緑内障の所見あります。精査と場合によって治療が必要	↑	[治療勧奨] 治療催促中
4	タクシー	男	70代	↑	左視力やや不良で、年1回程度の検査が望まれ	↑	[治療勧奨] 治療催促中
5	トラック	男	40代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	右目視力低下 経過観察の為年1回検査をお願いします	↑	[治療勧奨] 治療のお願い
6	トラック	男	60代	↑	左目異常あり	↑	[治療勧奨] 治療のお願い
7	タクシー	男	50代	↑	両目視力低下眼科受診 お願い致します	↑	[治療勧奨] 治療のお願い

## ③ 事業者にて「面談」をしたケース(5件)

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
1	タクシー	男	70代	異常所見あり (治療が必要)	白内障要治療	不明	[面談実施] 加齢による白内障だったため、個人面談のみ実施。 今後治療を勧奨
2	タクシー	男	70代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	日常生活に支障なし	↑	[面談実施] 面談を実施
3	タクシー	男	80代	↑	日常生活に支障なし	↑	[面談実施] 面談を実施
4	タクシー	男	60代	↑	現状で生活や業務への影響はありませんが、経過観察が必要	↑	[面談実施] 面談を実施
5	タクシー	男	70代	↑	↑	↑	[面談実施] 面談を実施

## ④ 事業者にて「健康相談」をしたケース(2件)

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
1	タクシー	男	70代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	年1度の検診を受けてください	不明	[面談実施] 健康相談を実施
2	タクシー	男	70代	↑	—	↑	[面談実施] 健康相談を実施

## ⑤ 事業者にて「治療の継続と異常時の報告の依頼」をしたケース(1件)

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
1	バス	男	60代	異常所見あり (治療が必要)	治療を続けてください	点眼薬をさしている	[治療継続と異常時の報告]

## 【事業者の対応】

### ⑥ 事業者にて対応がなされていないケース(39件)

視野障害(疑い含む)事例

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
1	タクシー	男	70代	異常所見あり (治療が必要)	右眼は老人性白内障あり。いずれ手術が必要。	点眼薬をさしている	特になし 治療中
2	タクシー	男	70代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	眼圧が高めでした。緑内障の疑いがあり。精密検査が必要。	精密検査実施	特になし
3	タクシー	男	70代	↑	視力右0.2(0.8)左0.2(1.0)強度近視および白内障の疑い。精密検査が必要。	精密検査実施	特になし
4	タクシー	男	70代	↑	左)視神経乳頭陥凹拡大	精密検査実施	特になし
5	タクシー	男	60代	↑	右視力不良 両 白内障	不明	特になし
6	バス	男	50代	↑	両 視神経乳頭陥凹拡大(緑内障の疑い)	特になし	特になし



## 【事業者の対応】

### ⑥ 事業者にて対応がなされていないケース(39件)

視野障害(疑い含む)事例

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
7	タクシー	男	70代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	両 白内障 両 高眼圧	不明	特になし
8	タクシー	女	60代	異常所見あり (治療が必要)	矯正視力不良、両白内障	精密検査実施 瞳孔を開いての検査	特になし 運転に支障なしと診断。自分自身で医師と相談し次回の治療予定日を決定
9	タクシー	男	60代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	右、眼底出血 両、白内障 矯正視力不良	不明	特になし
10	タクシー	男	60代	↑	両、白内障 裸眼視力不良	↑	特になし
11	タクシー	男	70代	↑	両 視神経乳頭陥凹拡大(緑内障の疑い)	↑	特になし
12	タクシー	男	50代	↑	両裸眼視力不良	↑	特になし

## 【事業者の対応】

### ⑥ 事業者にて対応がなされていないケース(39件)

視野障害(疑い含む)事例

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
13	タクシー	男	60代	異常所見あり(治療が必要)	左、網膜剥離 網膜 網膜裂孔 緊急レーザー必要	網膜光凝固術施術	特になし 自分自身で緊急治療を受けた 運転に支障なし
14	タクシー	男	70代	↑	左、中心性漿液性脈絡網膜症⇨定期検診必要(現在すぐには治療は不要)	特になし	特になし 運転に支障なし。行きつけの眼科で定期健診
15	タクシー	男	60代	異常所見の疑いあり(精密検査が必要・経過観察が必要)	両、糖尿病網膜症	不明	特になし
16	タクシー	男	60代	↑	視神経視神経乳頭陥凹拡大、高眼圧、緑内障の疑いがある	↑	特になし
17	タクシー	男	70代	↑	両軽度白内障。経過視察でOK	↑	特になし
18	タクシー	男	60代	↑	右白内障	↑	特になし

## 【事業者の対応】

### ⑥ 事業者にて対応がなされていないケース(39件)

視野障害(疑い含む)事例

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
19	タクシー	男	70代	異常所見あり (治療が必要)	両糖尿病・出血疑い・他の眼科通院中	すでに別の眼科医に通院中のため、継続してそちらの眼科医に治療をしてもらう	特になし 運転に支障なしと診断／行きつけの眼科で治療中
20	タクシー	男	70代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	右、白内障 左、糖尿病網膜症	不明	特になし
21	タクシー	男	60代	異常所見あり (治療が必要)	両眼糖尿病網膜症	令和5年2月25日より治療開始予定	特になし 運転に支障なしと診断／自分自身で治療の予約をした
22	タクシー	男	70代	↑	両高眼圧症 L)20mmHG 眼科通院中	すでに別の眼科医に通院中のため、継続してそちらの眼科医に治療をもらう	特になし 運転に支障なしと診断／行きつけの眼科で治療中
23	タクシー	男	70代	↑	異常所見の疑いあり。 治療もして視野欠損あり。 左 緑内障と診断、治療開始となった	検診当日に治療開始となり点眼薬をもらってさしている	特になし 運転に支障なしと診断／自分自身で治療の予約をした
24	タクシー	男	70代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	右、視神経視神経乳頭陥凹拡大(緑内障の疑い)		特になし

## 【事業者の対応】

### ⑥ 事業者にて対応がなされていないケース(39件)

視野障害(疑い含む)事例

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
25	タクシー	男	70代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	緑内障の疑い	不明	特になし
26	タクシー	男	70代	↑	両白内障 右翼状片	↑	特になし
27	タクシー	男	70代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	両視神経乳頭陥凹拡大	↑	特になし
28	タクシー	男	70代	↑	白内障の疑いあり 3-6か月に一度の受診を指示	↑	特になし
29	タクシー	男	70代	↑	白内障の疑いあり	↑	特になし
30	タクシー	男	70代	↑	白内障 定期受診が必要	↑	特になし

## 【事業者の対応】

### ⑥ 事業者にて対応がなされていないケース(39件)

視野障害(疑い含む)事例

業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応	
31	タクシー	男	70代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	右緑内障の疑いあり	不明	特になし
32	トラック	男	40代	↑	現状で生活や業務への影響はありませんが、経過観察が必要です。	↑	特になし
33	トラック	男	50代	異常所見あり (治療が必要)	右の糖尿病網膜症	↑	医師より運転に支障なしと診断
34	バス	男	60代	↑	眼圧出血 要医療	↑	以前から病院に通っており運転業務に問題なし
35	バス	男	60代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	視神経乳頭陥凹疑い 運転可	精密検査実施	特になし
36	バス	男	50代	↑	—	精密検査実施 左目 翼状片 切除	特になし

## 【事業者の対応】

### ⑥ 事業者にて対応がなされていないケース(39件)

視野障害(疑い含む)事例

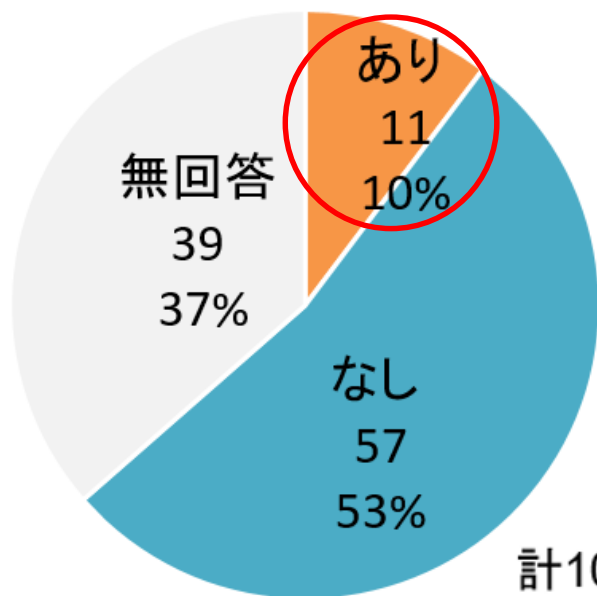
	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応
37	バス	男	60代	異常所見あり (治療が必要)	両目 眼圧 要受診	精密検査実施	精密検査後、運転に支障なしと診断
38	バス	男	50代	↑	両目 眼圧経過観察 眼底視神経乳頭陥凹	精密検査実施	精密検査後、運転に支障なしと診断
39	バス	男	50代	異常所見の疑いあり (精密検査が必要・経過観察が必要)	要視野検査の必要あり	精密検査実施 現状での生活業務への影響はなし	特になし

## 【事業者の対応】

初診にて「異常所見の疑いあり(精密検査、経過観察が必要)」と診断された運転者

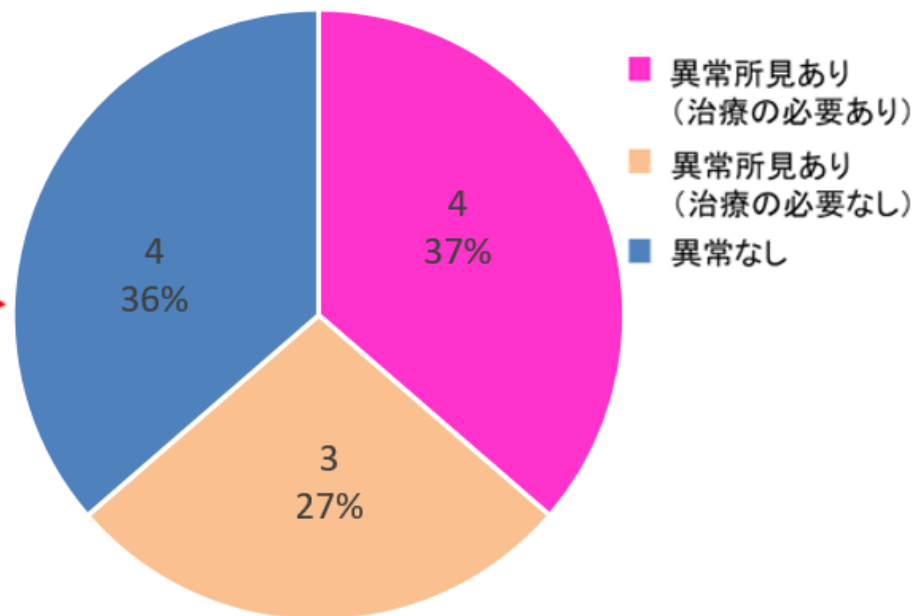
受診からおよそ1～3か月の間に精密検査を受診した運転者は全体の10%

精密検査受診有無




計107名  
※受診予定者は「なし」に分類

精密検査結果



## 【精密検査詳細】

 視野障害(疑い含む)事例

### 精密検査にて「異常所見あり(治療の必要あり)」と診断されたケース(4件)

	業態	性別	年齢	精密検査内容	精密検査結果	治療の状況
1	タクシー	男	60代	白内障等	投薬	点眼薬継続中
2	タクシー	男	60代	眼圧等	投薬	点眼薬継続中
3	トラック	男	70代	眼圧等	投薬	点眼薬継続中
4	バス	男	50代	視力検査・眼圧検査・眼底検査	左目 翼状片 切除	経過観察中(点眼薬による治療)

### 精密検査にて「異常所見あり(治療の必要なし)」と診断されたケース(3件)

	業態	性別	年齢	精密検査内容	精密検査結果
1	バス	男	40代	視力、眼圧、視野検査	視力・眼圧等の検査では異常なし。視野検査でマリOTT盲点の拡大はあるよう。今は無治療で半年毎の視野検査をすすめた。
2	タクシー	男	60代	眼圧検査、静的視野検査	①左高眼圧症 ②左網膜色素上皮剥離 経過観察
3	トラック	男	70代	眼圧検査、眼底検査、視力検査	高血圧眼底、KW I 程度 経過観察

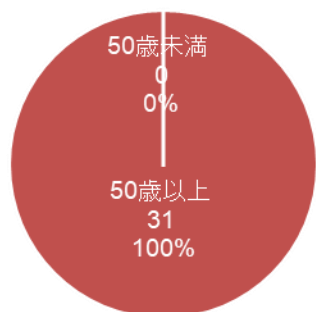
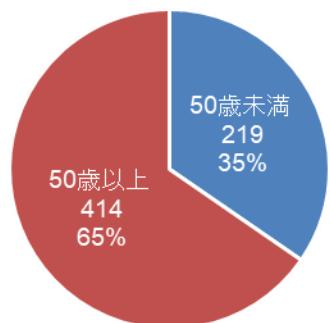


## 【眼科検診結果に基づく危険因子となりうる健康診断項目・生活習慣項目(抜粋)】

### 【中高齢者 ※50歳以上】

検診者全体

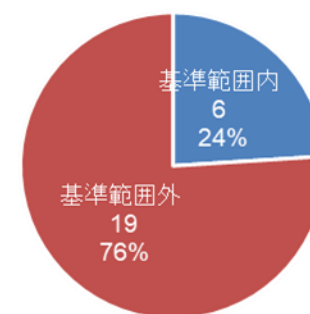
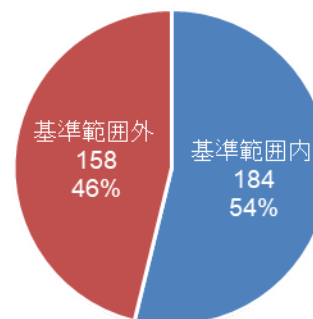
異常所見あり(治療が必要)



### 【収縮期血圧】

検診者全体

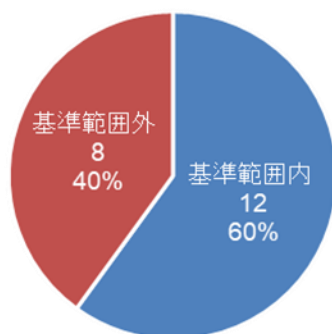
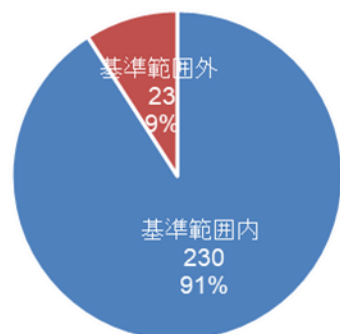
異常所見あり(治療が必要)



### 【血色素量】

検診者全体

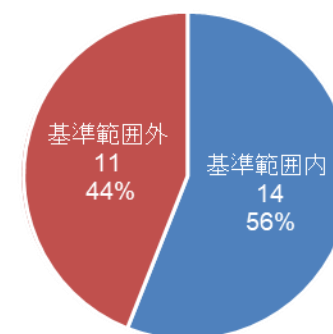
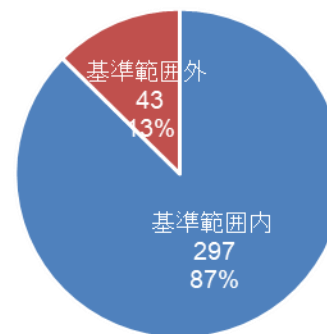
異常所見あり(治療が必要)



### 【赤血球数】

検診者全体

異常所見あり(治療が必要)

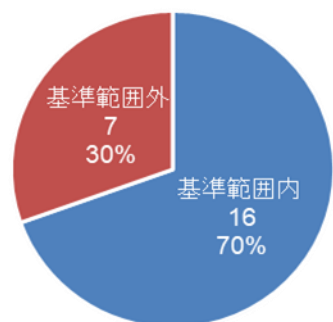
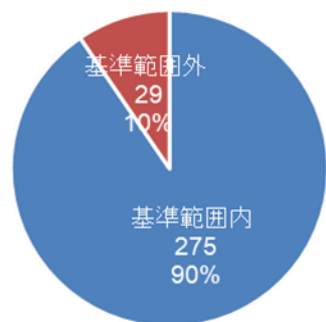


## 【眼科検診結果に基づく危険因子となりうる健康診断項目・生活習慣項目(抜粋)】

### 【ヘマトクリット値】

検診者全体

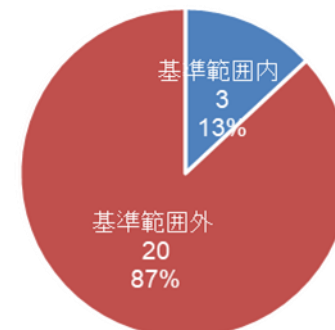
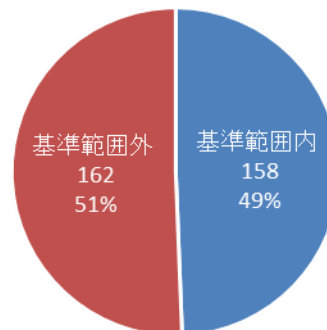
異常所見あり(治療が必要)



### 【空腹時血糖】

検診者全体

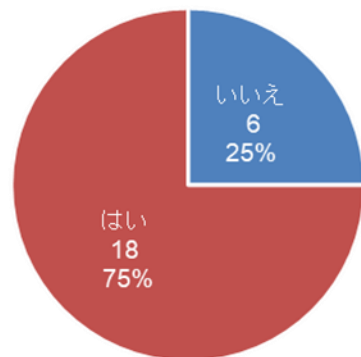
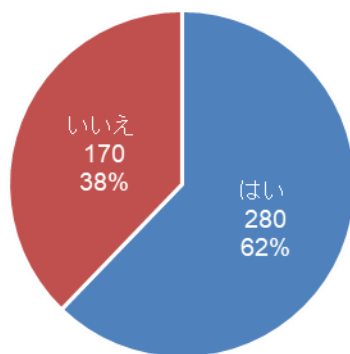
異常所見あり(治療が必要)



### 【服薬歴(血圧の薬)】

検診者全体

異常所見あり(治療が必要)



## 【眼科検診実施による効果、優良事例】

参加事業者のうち25社から回答あり(複数の回答をした事業者あり)

アンケート回答内容 ※類似回答にて分類	回答数	割合
所見の早期発見につながったことが良かった	5	17.2%
眼科検診を受診する機会が得られた	5	17.2%
異常がないことを確認でき、運転者が安心して乗務できる	3	10.3%
視野障害に対する良い啓蒙活動になった	3	10.3%
運転者への指導・情報共有など事業者のやるべきことに活用できる	3	10.3%
視野障害を早期に発見、治療することで事故を未然に防ぐことができる	1	3.4%
個人の状態を知ることができたのが良い	1	3.4%
特になし	8	27.6%

## 【課題、困りごとなど】

参加事業者のうち25社から回答あり(複数の回答をした事業者あり)

### (1) 眼科医の予約や眼科医への説明で困った点

アンケート回答内容 ※類似回答にて分類	回答数	割合	
眼科医によって、検査費用が異なる(保険適用可否含む)	4	13.8%	令和3年度 21.9%
眼科の予約が困難であった	3	10.3%	
検査を受けるための説明に苦労した	3	10.3%	令和3年度 18.7%
運転者の検診スケジュールや、受診時の交通手段の調整が難しかった	2	6.9%	
検査に対応できる医療機関を探すのに苦労した	1	3.4%	
特になし	16	55.1%	

その他、眼科医への説明の際、「眼科医へのみなさまへ眼科検診にあたってのお願い」の書類が役に立ったという意見もあった(3件)。  
産業医による検診や、健康診断に取り入れたため問題がなかったという意見もあった(3件)。

## 【課題、困りごとなど】

### (2) 検診時間や検診内容で困った点

アンケート回答内容 ※類似回答にて分類	回答数	割合
業務終了後や土日祝日に受診できる眼科が少ない	5	17.9%
眼科医が混雑しており、検診から結果報告を受けるまで時間を要した	3	10.7%
受診するための業務調整が大変だった	3	10.7%
眼科医への検診内容の説明に苦労した	1	3.6%
特になし	16	57.1%

## 【課題、困りごとなど】

### (3) 検診結果について眼科医から聴取する上で困った点

アンケート回答内容 ※類似回答にて分類	回答数	割合
手書きされた所見内容の字が読みづらい	1	4.0%
フォーマットの使用方法を運転者に周知させるのに苦労した	1	4.0%
知識不足から、眼科医とのコミュニケーションに苦労した	1	4.0%
健康診断での検診だったため、その後の運転者へのフォローが不足した	1	4.0%
特になし	21	84.0%

### (4) 検診結果を踏まえた上での事業者の措置について困った点

アンケート回答内容 ※類似回答にて分類	回答数	割合
要治療、要精密検査と診断された運転者に確実に治療、検査を受診させる	5	20.0%
加齢による変化を異常所見とみなすことに疑問を感じる	1	4.0%
特になし	19	76.0%

## 【課題、困りごとなど】

### (5) その他、眼科検診実施の上で困った点、お気づきの点

アンケート回答内容 ※類似回答にて分類	回答数	割合
眼科医から、白内障や緑内障の検査も併用した方が良いと助言された	1	4.0%
受診するための勤務調整に苦労した	1	4.0%
初診と精密検査の眼科医の診断に違いが生じた	1	4.0%
眼科医から、視力検査・眼圧検査・無散瞳眼底検査だけでは正確な診断ができないと言われた	1	4.0%
運転者へのフォローアップの観点から、健康診断に取り入れるのではなく単独で眼科を受診した方が良いと感じた	1	4.0%
特になし	20	80.0%

# 令和4年度新規検診者 まとめ(案)

- 全検診者633名のうち、異常所見あり、異常所見の疑いありと判断された運転者(以下、有所見者)は、計138名であり、全体の22%を占める。
- 年齢が上がるにつれ、有所見者の割合が高くなり、60代で約30%、70代で約50%であった。
- 視野障害の原因疾患(疑い含む)と判断された運転者は計82名であり、全体の13%であった。
- 有所見者のうち、22名は事業者から何らかの対応がされており、対応がされなかった運転者についても、通院治療を実施していることや医師から運転に支障がないと助言されたケースもある。
- 異常所見の疑いあり(精密検査、経過観察が必要)と判断された運転者のうち、実際に精密検査を実施した運転者は11名(10%)であった。
- 実際に精密検査を受けた運転者のうち、視野障害(疑いあり)と判断されたのは、4名であり、精密検査受診者全体の36%であった。この結果から精密検査を実施する(保険適用)重要性を強く認識していただく取組が必要。
- 今後は、何らかの対応がされた運転者の乗務状況などを追跡することで、運転寿命の延伸や交通事故の有無などの相関を調査する。
- モデル事業に対するアンケートでは、所見の早期発見につながったという意見が多い一方、眼科医により費用が異なることや予約が取りづらいなどの意見もあった。



# 令和3年度検診者 追跡結果まとめ

## 【検診の中で見つかった症例】

### （視野障害の原因疾患）

全検診者のうち、視野障害の原因疾患（疑い含む）と判断された運転者は計57名（8%）

症例	人数	20代	30代	40代	50代	60代	70代
緑内障	4名	0名	0名	0名	4名	0名	0名
緑内障疑い	45名	2名	5名	13名	13名	8名	4名
網膜疾患	8名	0名	0名	1名	4名	2名	1名

※一部は精密検査を実施している場合もあり

### （視野障害以外の疾患）

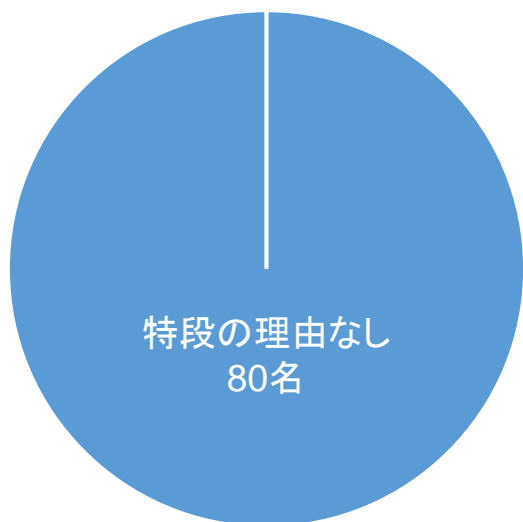
- ・白内障

## 【事業者の対応】

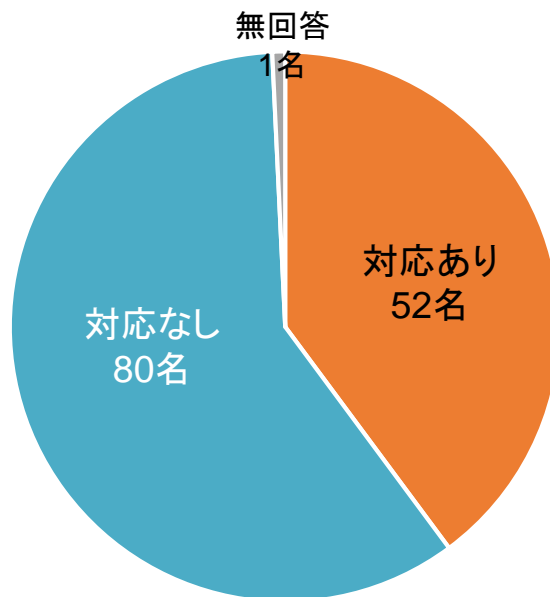
初診にて「**異常所見あり(治療が必要)**」もしくは「**異常所見の疑いあり(精密検査が必要、経過観察が必要)**」と診断された運転者

受診からおよそ一年の間に何らかの対応をしたと回答した事業者は**全体の40%**

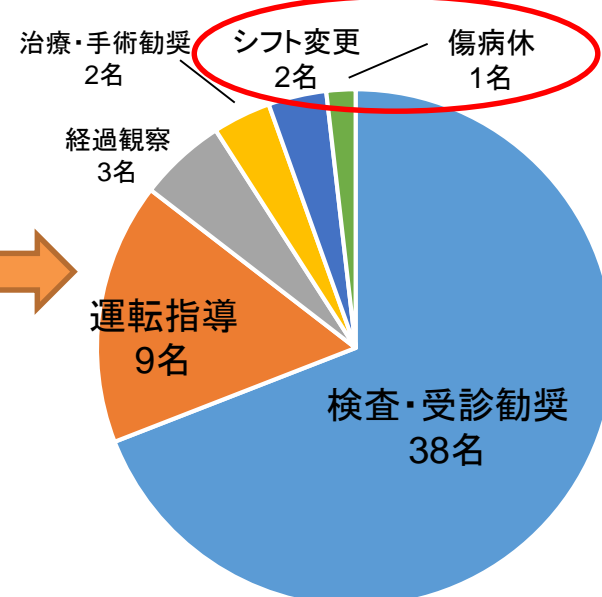
### 「なし」の場合 対応しなかった理由



### 運転者に対する 事業者の対応有無



### 「あり」の場合 事業者の対応内容



## 【事業者の対応】

### ① 事業者にて「シフト変更」をしたケース(2件)

視野障害(疑い含む)事例

	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応(令和3年度)	事業者の対応(令和4年度)
1	タクシー	女	50代	異常所見あり (治療が必要)	左目に強度の白内障有り手術が必要	令和4年4月手術予定	[シフトの変更] 日勤業務へ移動	勤務制限なし
2	タクシー	男	60代	↑	右目黄斑変性症を認めるが現在治療中経過も良好	治療中	[シフトの変更] 9:00~18:00へ変更	勤務制限なし

### ② 事業者にて「傷病休」を指示したケース(1件)

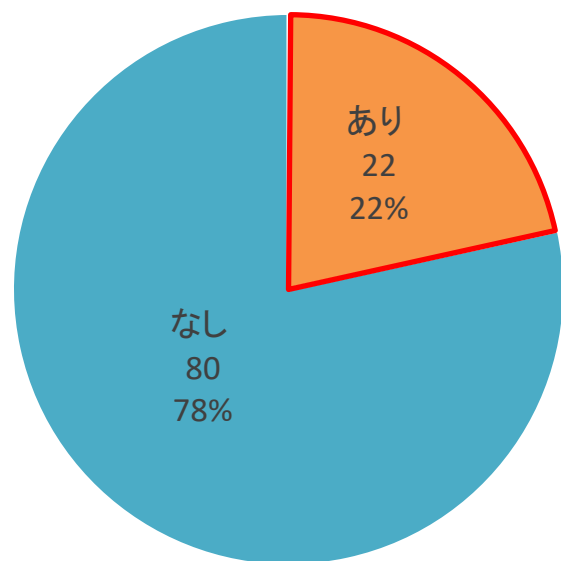
	業態	性別	年齢	検査結果	検査結果(詳細)	治療の状況	事業者の対応(令和3年度)	事業者の対応(令和4年度)
1	タクシー	男	60代	異常所見あり (治療が必要)	両白内障 手術を計画しています	白内障手術	[傷病休] 術前後暗所で安静にすること。運転不可。	勤務制限なし

## 【事業者の対応】

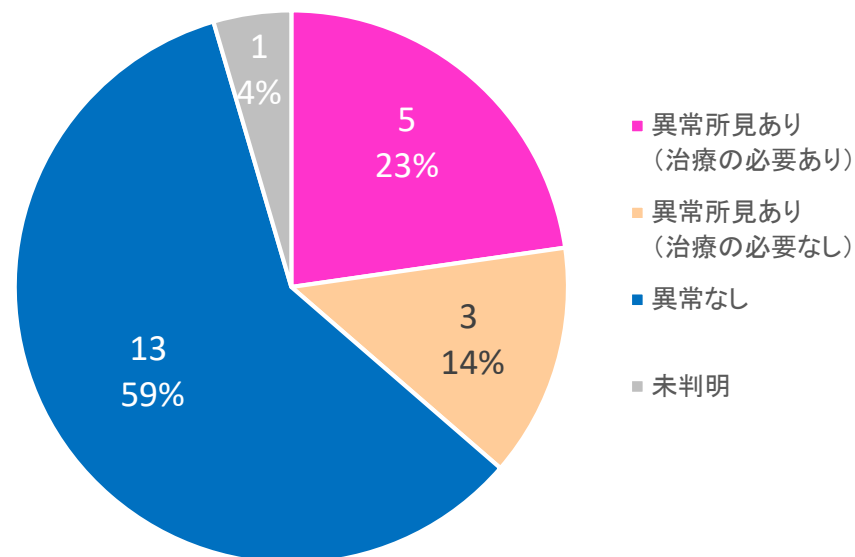
初診にて「異常所見の疑いあり(精密検査、経過観察が必要)」と診断された運転者

「異常所見の疑いあり(精密検査が必要、経過観察が必要)」と診断された運転者において、初診からおよそ一年の間に精密検査を受診した運転者は全体の22%

精密検査受診有無



精密検査結果



計102名※受診予定者は「なし」に分類


## 【精密検査詳細】

視野障害(疑い含む)事例

精密検査にて「異常所見あり(治療の必要あり)」と診断されたケース(5件)

	業態	性別	年齢	精密検査内容	精密検査結果	治療の状況
1	バス	男	50代	視力、眼圧、視野検査	左緑内障	かかりつけ眼科以外での受診予定
2	トラック	男	50代	眼圧/眼底/視野	緑内障	点眼薬継続中
3	トラック	女	40代	精密視野検査	眼圧が高い	点眼液継続中
4	タクシー	男	60代	白内障	軽度の白内障	白内障手術をした
5	バス	男	40代	視野検査	軽度の緑内障	点眼薬継続中

## 【精密検査詳細】

 視野障害(疑い含む)事例

精密検査にて「異常所見あり(治療の必要なし)」と診断されたケース(3件)

	業態	性別	年齢	精密検査内容	精密検査結果
1	バス	男	60代	視力、眼圧、視野検査	両初発白内障
2	バス	男	50代	視力、視野検査	両視神経乳頭陥凹拡大
3	バス	男	40代	視力、眼圧、視野検査	両近視性乱視、両硝子体混濁

## 【眼科検診による効果、優良事例】

追跡調査対象事業者のうち21社から回答あり

アンケート回答内容 ※類似回答にて分類	回答数	割合
所見の早期発見につながったことが良かった	2	9.5%
検査を受けることで乗務員もより安心して運転業務をあたることができる	2	9.5%
個人の状態を知ることができたのが良い	2	9.5%
視野障害を含む疾病の兆候を見逃さず、事故を未然に防ぐ取組みができた	1	4.8%
「眼」に対する意識が少し変わったように感じる	1	4.8%
眼科検診を受診する機会を得られた	1	4.8%
特になし	12	57.1%



## 【課題、困りごとなど】

追跡調査対象事業者のうち21社から回答あり

### 検診結果を踏まえた上での事業者の措置について困った点

アンケート回答内容 ※類似回答にて分類	回答数	割合
勤務制限が必要となった場合、配置換えなどが必要になる	1	4.8%
回復見込みがないと診断された乗務員への対応がわからない	1	4.8%
特になし	19	90.5%

### その他、眼科検診実施の上で困った点、お気づきの点

アンケート回答内容 ※類似回答にて分類	回答数	割合
検診者の協力を得るのに苦労した	2	9.5%
視野検査も取り入れるべきだが、費用が高額になると難しい	2	9.5%
異なる医療機関で受診したので、検査結果や判断基準に差異が出ることを懸念している	1	4.8%
無散瞳眼底検査に対応できる医療機関を探すのに苦労した	1	4.8%
特になし	15	71.4%

# 令和3年度検診者 追跡結果まとめ(案)

- 視野障害の原因疾患(疑い含む)と判断された運転者は計57名であり、全体の8%であった。
- 有所見者と判断された運転者に対して、1年の間に何らかの対応を実施したのは52名であり、全体の40%を占めた。
- スクリーニング検査の結果、3名についてはシフト変更や傷病休の対応となったが、その後、手術や治療を経て、令和4年度の調査では全員が勤務制限なしとなった。
- 異常所見の疑いあり(精密検査・経過観察が必要)と判断された運転者のうち、1年の間に精密検査を受けたのは22名であり、全体の22%であった。その中で視野障害(疑い含む)と判断されたのは、5名であり、精密検査受診者全体の23%であった。この結果から精密検査を実施する重要性を強く認識していただく取組が必要。
- さらに1年間、運転者の追跡を行うことで、有所見者に対する対応などから、運転寿命の延伸や交通事故有無との相関について調査を行う。